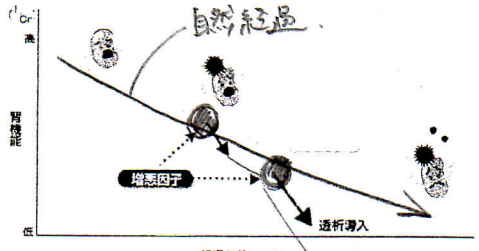
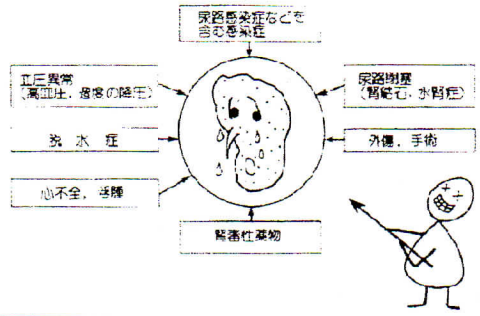
- 血圧異常（高血圧，
- 脱水
- 心不全，浮腫
- 腎毒性物質
- 外傷，手術
- 尿路閉塞
- 感染症

慢性腎不全の急性増悪



急激に悪くならないように。

腎機能障害の増悪因子



慢性腎臓病(Chronic Kidney Disease, CKD)

① 尿異常，画像診断，血液，病理で腎障害の存在が明らか
　—特に蛋白尿の存在が重要—
② GFR <60 mL /min/1.73 m²
①，②のいずれか，または両方が3か月以上持続する

→放置すると腎不全に…。

早めに慢性腎不全を予防するために設けられた。

CKD（慢性腎臓病） Chronic Kidney Disease	CRF (慢性腎不全) Chronic Renal Failure
① 腎障害を示唆する所見(検尿異常、画像異常、血液異常、病理所見など)の存在 ② GFR < 60 ml/min/1.73m² ①②のいずれか、または両方が3ヶ月以上継続する。	数か月から数年にわたり進行する不可逆的なGFRの低下 （血清Cre > 2 mg/dL） 0.6～0.7 が ブツの人

CKDという概念が生まれた背景とは…

1) 透析や移植を要する末期腎不全患者数が世界的に顕著に増加しており、各国において医療経済上の大きな圧迫要因と成りつつある。
2) 透析患者の生命予後は極めて悪く、非透析患者の半分程度しかない(日本透析医学会調べ)こと。
3) CKDが末期腎不全への進行リスクであるばかりでなく、心血管疾患(CVD)の強力な発症リスクであること。
4) CKDの有病率が現段階でも予想以上に高く、今後も増加することが危惧されること。

CKDを早期に発見し、評価し、必要があれば適切に介入することにより、CVD発症や末期腎不全への移行を抑制することが可能であり、医療者のみならず、患者、市民にも容易に理解できる概念として定着することが求められた。

(以上CKD診療ガイドライン2009より抜粋)